

鳥取県は 2020年 東京オリンピック・パラリンピックに県産木材を提供します！

鳥取県から提供する木材は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村（東京都中央区晴海）に建設される交流施設「ビレッジプラザ」に使用されます。

○鳥取県の木材が使われる 選手村交流施設「ビレッジプラザ」の概要



選手村ビレッジプラザは、各国選手団の入村式が行われるなど、メディアを通して多くの人目に触れる選手村の代表的な施設です。この施設に、全国の自治体から借り受けた木材を使用する「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」プロジェクトとして木材を提供します。大会後は施設を解体し、県内で再び活用する予定です。

- ・木平屋建、延床面積 約6,000m²
- ・木材搬入：H30.11～H31.6（予定）
- ・建築：H31.6～H32.6（予定）

○ビレッジプラザには、鳥取県の他に県内では智頭町が木材を提供します

●木材の提供量

鳥取県	智頭町
構造材(スギ)10m ³	構造材(スギ)10m ³
構造用合板 160枚	—



●木材の提供者は、鳥取県・智頭町を含む全国62自治体（23都県、39市町村）

●提供する木材の条件と種類等

条件：森林認証材（FSC、SGEC等）で、かつJAS規格適合品

種類：構造用製材（柱、梁）、構造用集成材（LVL等）、構造用合板など

仕様：乾燥材であり仕口加工、保護塗装を施すこと



第63回鳥取県植樹祭でのエンブレム盾等の贈呈（左から、野川副知事、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 福島会場整備局長、智頭町 金児副町長）

平成30年5月27日（日）大山国体広場（大山町）で開催された第63回鳥取県植樹祭において、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 福島七郎会場整備局長より、野川副知事と、智頭町の金児副町長に感謝状と記念のエンブレム盾が贈呈されました。



感謝状



エンブレム盾